＜報道発表資料＞
（大学同時）

令和７年６月 10 日
京都市立芸術大学 共創テラス・連携推進課
取次：京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 令和７年度前期

伝音セミナー ―日本の希少音楽資源にふれる―

この度、京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターでは、令和７年度前期伝音セミナーを開催します。講義では、各テーマに沿って、希少音源をお聴きいただきます。
「日本伝統音楽の講座に参加するのは初めて」という方にも、気軽に受講いただけるセミナーです。

【概要】

● 日程

第１回： 令和７年７月 24 日（木）
「ひとつの謡を様々に節付けする―江戸時代の能役者、岩井直恒による試み」
講師： 高橋 葉子（日本伝統音楽研究センター客員研究員）
藤田 隆則（日本伝統音楽研究センター教授）
荒野 愛子（神戸女子大学大学院在籍）
実演： 浦田 保親（観世流シテ方）

第２回： 令和７年８月７日（木）
「祇園小唄の世界」
講師： 大西 秀紀（日本伝統音楽研究センター客員研究員）

第３回： 令和７年９月４日（木）
「乗り物とレコード」
講師： 大西 秀紀（日本伝統音楽研究センター客員研究員）

第４回： 令和７年９月25日（木）
「理解と曲解の音楽― 外から見た「日本らしさ」」
講師： 齋藤 桂（日本伝統音楽研究センター准教授）

各講座の内容については別添のフライヤーを参照。

- 時間　　各回とも 午後 2 時 45 分～4 時 15 分（午後 2 時 30 分開場）
- 場所　　京都市立芸術大学 伝音セミナールーム 地図
  （〒600-8601 京都市下京区下之町 57－1 A 棟 1 階）
- 対象　　不問（未就学児童を除く）
- 定員　　各回とも 50 名
- 受講料　無料
- 申込　　不要
- 企画　　京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
- 主催　　京都市立芸術大学

＜京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センターについて＞

京都芸大が平成 12 年に設置した、日本の社会に根ざす伝統文化を音楽・芸能の面から総合的に研究する国内唯一の公的研究機関

新たな要素を取り入れながら独自の様相を今日に呈している伝統文化が新たな文化創造の源泉となるよう、その根底にある文化構造を研究し、研究成果を広く伝えることにより、伝統的な音楽、芸能を中心とする研究分野における核となることを目指しています。

「伝音セミナー」をはじめとする公開講座は、市民の皆様への還元を目的として開催しています。

＜お問い合わせ先＞

京都市立芸術大学 共創テラス・連携推進課
電話：０７５－５８５－２００６